

授業科目名	施設実習 (2100631)		
時間割名	施設実習 (70111)		
時間割担当	矢野正		
実施期	通年	単位数	2 選択
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

児童福祉施設や知的障害者施設等の役割や機能を、実践を通して学ぶ。特別な社会的ニーズを持った子どもたちと生活を共にするなかで、子どもたちの支援の方法を具体的に学ぶ。子どもたちの心身や環境を踏まえて、望ましい発達のための援助や関わりについて学ぶ。

学習の到達目標

1. 保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。
2. 観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。
3. 既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。
4. 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。
5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。

授業において具体的には、

- (1) 実習施設の機能と役割について理解する。
 - (2) 個々の発達特性・障がい特性を知り、それに応じた具体的な支援方法を学ぶ。
 - (3) 地域との連携や家庭への支援方法などの実態を学ぶ。
 - (4) 施設保育士の役割を理解し、職業倫理について学ぶ。
- ことを目標とする。

授業方法・形式

講義を中心に行う。

授業計画

- 第1回 施設の役割と機能(1) 施設の生活と一日の流れ
- 第2回 施設の役割と機能(2) 施設の役割と機能
- 第3回 子ども理解(1) 子どもの観察とその記録
- 第4回 子ども理解(2) 個々の状態に応じた援助やかかわり
- 第5回 養護内容・生活環境(1) 計画に基づく活動や援助
- 第6回 養護内容・生活環境(2) 子どもの心身の状態に応じた対応
- 第7回 養護内容・生活環境(3) 子どもの活動と生活の環境
- 第8回 養護内容・生活環境(4) 健康管理、安全対策の理解
- 第9回 計画と記録(1) 支援計画の理解と活用
- 第10回 計画と記録(2) 記録に基づく省察・自己評価
- 第11回 専門職としての保育士の役割と倫理(1) 保育士の業務内容
- 第12回 専門職としての保育士の役割と倫理(2) 職員間の役割分担や連携
- 第13回 専門職としての保育士の役割と倫理(3) 保育士の役割と職業倫理
- 第14回 事前指導の総括とまとめ
- 第15回 事後指導の総括とまとめ

成績評価の基準

1. 実習登録手続きに関する状況、2. 事前の書類(細菌検査・オリエンテーション報告書など)提出の状況、3. 実習中の状況(巡回指導時の状況も含む)、4. 実習への参加状況、5. 実習先からの実習評価、6. 実習日誌提出、事後に必要な書類提出(お礼状・欠席届など)の状況、7. 実習日誌の記述内容をもとに総合的に評価する。

準備学習・復習及び授

既習の社会福祉、児童家庭福祉、社会的養護、社会的養護内容等の総括をしておくこと。日頃から児童福祉施設や知的障害者施設等の新聞記事に目を光らせておく。特別な社会的ニーズを持った子どもたちと生活を共にするなかで、子どもたちの支援の方法を知る。子どもたちの心身や環境を踏まえて、望ましい発達のための援助や関わりについて考える。

履修上のアドバイス及

私語を慎む、無断で遅刻・早退をしないなど、受講上の基本的なマナーを守ること。
資料の予備配布は行わないため、欠席した学生は、次回講義までに出席した学生などから資料をコピーさせてもらうこと。
なお、欠席については一切の事由を問わず認めない。

教材・教科書

授業中に適宜、指示する。

参考書

岡本幹彦・神戸賢次・喜多一憲・児玉俊郎編「保育士養成課程 四訂 福祉施設実習ハンドブック」(株)みらい